

志波城跡出土の文字資料

2026年1月

盛岡市遺跡の学び館 今野 公顕

キーワード	墨書土器	・	出土文字資料	・	志波城
目次	I はじめに	II	出土文字資料の特徴	III	志波城跡の出土文字資料からみる特質
	IV さいごに	V	志波城跡出土文字資料集成		

I はじめに 志波城の概要

本稿は、志波城跡出土文字資料の集成と、そこからうかがえる若干の考察である。

史跡志波城跡は盛岡市下太田・中太田・本宮・上鹿妻地内に所在する。志波城は延暦22(803)年、桓武天皇が造志波城使に任じた坂上田村麻呂が造営した古代城柵である。奈良から平安時代初頭の天皇を中心とした政府は、統治範囲外だった東北地方とそこに住む蝦夷(エミシ)と呼ばれた人々を統治下に組み込むため、各地に城柵という行政府を20数カ所造営し、そこを拠点に施策を行った。陸奥国、出羽国、越後国の国司には、「饗給(撫慰)」(蝦夷に酒食や禄を与え歓待し、懐柔する。)、
「斥候」(様子をうかがう。)、
「征討」(武力行使)といった、他国には無い対蝦夷政策の任務を帯びていた(養老令・職員令70大國条)。

志波城は、古代陸奥国最北の城柵であり、国府多賀城に匹敵する最大級規模を誇った。鎮守府(対蝦夷軍・軍政府統治機関)の機能が一時置かれていた可能性もあるが、弘仁2(811)年頃までに、桓武天皇による各種行財政改革と徳政相論による大規模征夷政策停廃や、北側を東流する雫石川の氾濫を被るとして、文室綿麻呂が徳丹城を造営し機能移転したとされる(『日本後紀』)。

城内主要施設は、真北から約6.5°東向きを基準に設置された。外郭平面形は、ほぼ正方形と考えられる。北辺は、10世紀代の洪水によって削られ、現在も段差が視認できる。外郭は、一辺約928mの外大溝、約840mの築地塀(土を型枠に入れ、薄く何度も突き固めて作った土塀)で囲まれ、さらに東辺と南辺の外側には土塁を伴う大溝(一町溝)が巡り、三重に囲郭されていた。外郭築地塀には約60m間隔で櫓が建ち並んだ。外郭南辺中央には五間一戸の重層櫓門の外郭南門がそびえ、幅約18mの大路が南北に延びた。

城内中央やや南側に、儀式や政務の中心施設の政庁があった。政庁は一辺約150m四方を築地塀で囲み、四辺中央に門があった(南・北門は八脚門、東・西門は四脚門)。この広さは城柵最大である。内部には、高床の正殿と東西脇殿が、約66m四方の儀式の場の広場を品の字状に囲む。東西脇殿後殿のほか、北東側に四面庇付建物、北西側に逆L字形に並ぶ建物群があった。政庁内に建物群を配するのは、志波城政庁の特徴である。政庁外側の南東・南西・東方には、行政実務を行った官衙である掘立柱建物や堅穴



建物が建ち並んだ。この堅穴建物は、小鍛冶工房として使われたものもあった。

外郭築地塀から内側約 110 m の範囲には、1200 ～ 2000 棟ほどの堅穴建物が密集して建ち並んだ。鎮兵が駐屯した兵舎を主体に、鍛冶や漆木工などの工房として使われたものもあるとみられる。

土器の多くは、堅穴建物跡からの出土である。その組成は、須恵器 79%、あかやき土器（ロクロ成形の酸化炎焼成土器）13%、土師器 8% であり、一般集落のそれとは逆転している（西野修 2008）。志波城周辺の一般集落に須恵器が多くなるのは、志波城造営後 9 世紀以降であり、志波城などをおした技術流入の結果と考えられる。城内の堅穴建物跡の武具・農具・工具・馬具など鉄製品の出土量も、同時代の一般集落より多い。

II 出土文字資料の特徴

1 概観

(1) 出土文字資料の種類

墨書土器、刻書土器、刻書石製品が出土している。その他の漆紙文書、木簡などは未発見である。

(2) 墨書土器の特徴

- ・須恵器坏の底部外面に書かれた物が多い。
- ・一般集落にもみられる「奉」・「九」・「大」・「万」など、信仰をうかがわせる吉祥句的な一文字のみが坏底面中央に大きく書かれた物が多い。
- ・一方、一般集落にはほとんど見られない官衙的な文字が書かれた物が見られる。「佐旆」（さみ・越後国頸城郡（現・新潟県上越市内）の郷名）、「上総口（郷カ）」（現・埼玉県飯能市付近の郷名カ）、「答」（出羽国山本郡塔甲郷カ＝払田柵との関係）といった志波城と関連が考えられる地名や、「府」（鎮守府カ）、「酒所」（儀式宴会用酒管理所）、「厨」（厨房）の施設名を表すものは、官衙的と言える。
- ・一般集落に多くみられる坏体部外面に吉祥句的な一文字のみの墨書は、ほとんどない（体部に記された文字は、坏刻書「十」のみ。須恵器の蓋の墨書「府」・「万」を除く）。

(3) 硯 須恵器の円面硯、風字硯が出土。周辺集落遺跡からの硯の出土例は、飯岡林崎Ⅱ遺跡出土の円面硯 1 点のみである。

2 文字資料の種類や位置の分析（図 2・3、表 1・2）

これまでの志波城跡出土文字資料は 19 点ある。墨書が 16 点、刻書が 3 点である。刻書のうち石製品が 1 点、土器が 2 点である。出土文字資料のうち、石製品はこの 1 点のみで、残り 18 点は土器である（表 1 ①・②・③）。墨書土器は、坏が 14 点、蓋が 2 点である（表 1 ④）。

土器の文字の位置は、坏底部が 15 点（うち 1 点は刻書「甲」、ほか 14 点は墨書）、体部に記された文字は、坏体部の刻書「十」が 1 点、須恵器の蓋体部墨書「府」と「万」の 2 点である（表 1 ⑤）。

次に、坏底面に書かれた文字資料 15 点について概観する（表 2、図 2・3）。文字種類は、「地名」・「施設名」・「吉祥句」に分類した。底面の文字の位置は、図 2 のように分類した。底面に書かれた文字種類は、吉祥句が 53% である。吉祥句は、上中位置の「奉」のほかは、一般集落にも多くみられる中中位置（75%）である。しかし、一般集落に多く見られる坏体部外面の文字は、吉祥句（ないしは窯記号）刻書「十」の 1 点のみである。地名の 50% と施設名の 33% は上左位置と上中位置に納まる官衙的な物（「佐旆」・「上総口（郷カ）」・「酒所」）がある一方、中中位置に大きく書かれた物（「大屋」・「答」）もある。

表1 出土文字資料の分析

①文字資料	19	③文字資料	19
石製品	1	墨書	16
土器	18	刻書	3
		土器	16
		石製品	0
		土器	2
		石製品	1
②土器	18	⑤土器文字位置	18
墨書	16	体部	3
刻書	2	刻書	1 坏「十」
		墨書	1 蓋「府」
		墨書	1 蓋「万」
		刻書	1 甲
		墨書	14
④墨書土器	16		
蓋	2		
坏	14		

表2 坏底面に書かれた文字の種類と位置

種類	個数	位置	個数	文字
地名	4	上左	1	佐旆
		上中	1	上総□
		中中	2	大屋、答
施設名	3	上左	1	酒所
		中中	2	厨、厨
吉祥句	8	上中	2	甲、奉
		中中	6	本、九、廣、入、圭、万
	15		15	



図2 坏底面文字位置

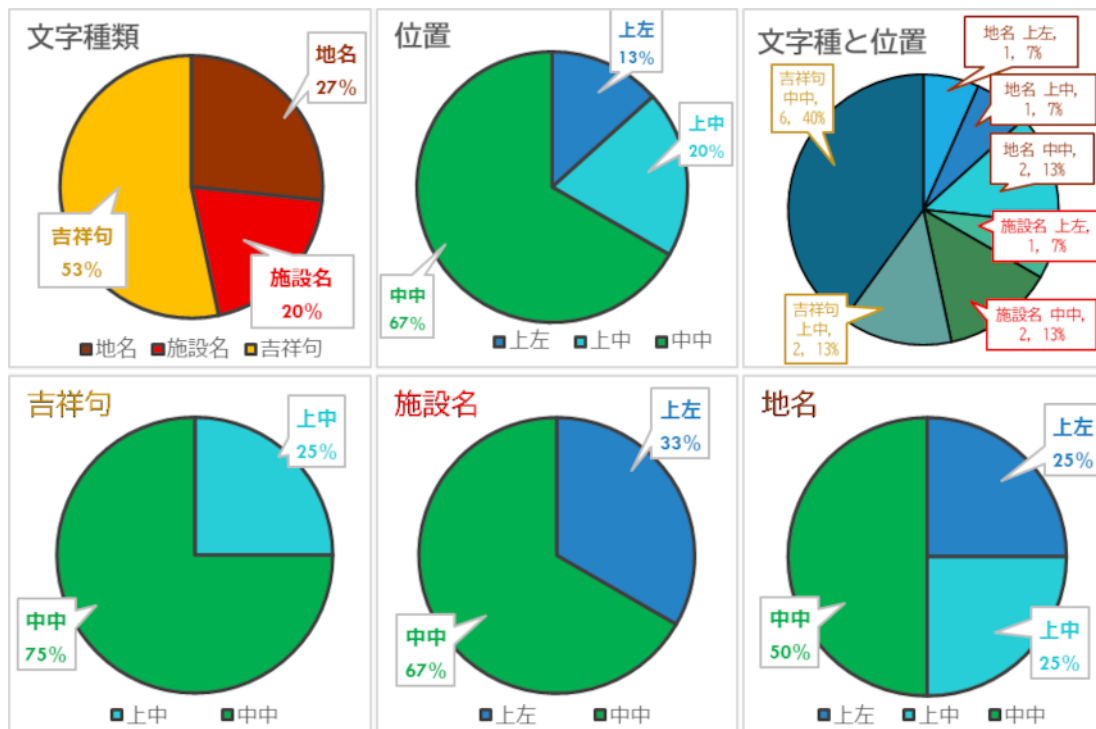


図3 志波城跡出土 坏底面に書かれた文字資料分析グラフ

第 424 号木簡は文書箱蓋であり「府符□（〔諸カ〕）郡司□」、第 425 号木簡は「・館司長□□（〔謹解カ〕）大目館小子・等□（〔鎮カ〕）守府伊麻呂□□□（〔充カ〕） / 使□□子」である。第 424 号木簡の「符」は下達文書を示す。国から郡司へ符を発する場合、「某国符」、「国符」、「符」と記するのが通例で、「国府符」は無いという。大宰府などほかの府呼称の陸奥国外官司から陸奥国内郡司へ符を下すことは考えがたいこと、第 425 号は「鎮守府」と筆をとったとみられることから、これらの府は鎮守府を指し、奈良時代には多賀城内城前地区官衙が鎮守府機能を担っていた可能性を指摘している（宮城県多賀城跡調査研究所 2018、吉野武 2019）。

このほか東北地方の奈良・平安時代前半の「府」字墨書土器は、市川橋遺跡（宮城県多賀城市）、壇ノ越遺跡（宮城県加美町）などの出土があるが、総数は多くない。両遺跡とも、多賀城跡と関連の深い遺跡とされる。

これらの「府」字が鎮守府を示すなら、志波城跡第 51 次調査 SI441 竪穴建物跡出土須恵器蓋の墨書「府」も、鎮守府との関係を示す。

IV さいごに

本稿では、志波城内出土文字資料の紹介と、若干の考察をした。今後、この集成から志波城の歴史的な特色を考察していきたい。

こうした取組によって、志波城跡や東北北部の古代史に関する意見交換が活性化し、当市の古代史像が鮮明になる研究の進展に繋がることを願う。それが、多くの市民の志波城跡や地域の歴史遺産への理解と興味を深める一助になり、一層地域の個性である歴史が愛されるようになれば幸いである。

末筆だが、本稿を成すに当たり、鈴木拓也氏（近畿大学）、樋口知志氏（岩手大学）から貴重なご教示を賜った。記して感謝申し上げる。

【参考文献】

- 青森県 2001 『青森県史 資料編 古代1 文献史料』
 古代城柵官衙遺跡検討会 2024 『古代東北の城柵・官衙遺跡』同検討会 50 周年大会記念資料集第 3 分冊
 今野公顕 2009 「9 世紀前半の志波城周辺の土器様相」『第 35 回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』
 鈴木拓也 1998 『古代東北の支配構造』吉川弘文館
 鈴木拓也 2008 『戦争の日本史3 蝦夷と東北戦争』吉川弘文館
 津嶋知弘 2004 「志波城と蝦夷社会」『古代蝦夷と律令国家』高志書院
 津嶋知弘 2013 「古代「斯波(志波)」郡北部の土器群変遷(その1)―雫石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料を中心に―」盛岡市遺跡の学び館学芸レポート Vol.2
 津嶋知弘 2014 「古代城柵の城内竪穴建物跡―志波城内竪穴建物跡の集成とその性格の検討―」盛岡市遺跡の学び館学芸レポート Vol.3
 津嶋知弘 2015 『盛岡市遺跡の学び館平成 27 年度テーマ展「方八丁を掘る! - 志波城発掘史 -」資料集解説「志波城跡出土土器群の特徴」』盛岡市遺跡の学び館
 津嶋知弘 2023 「斯波(しわ)郡北部における 9・10 世紀の古代集落―盛岡市盛南地区・飯岡地区・羽場地区―」盛岡市遺跡の学び館学芸講座配付資料
 西野修 2008 『日本の遺跡 31 志波城・徳丹城跡―古代陸奥国北端の二城柵―』同成社
 福島正和 2009 「9 世紀前半の志波城周辺の集落様相」『第 35 回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』
 宮城県多賀城跡調査研究所 2018 『多賀城跡 政庁南面地区 城前官衙遺構・遺物編』宮城県・宮城県多賀城跡調査研究所
 盛岡市教育委員会 2016 『志波城跡と蝦夷(エミシ)』盛岡市文化財シリーズ第 43 集
 盛岡市遺跡の学び館 2023 『第 21 回企画展「大島遺跡に見る蝦夷(エミシ) 社会の変容」』図録
 吉野武 2019 「八世紀鎮守府に関する覚書」『古代東北の地域像と城柵』高志書院

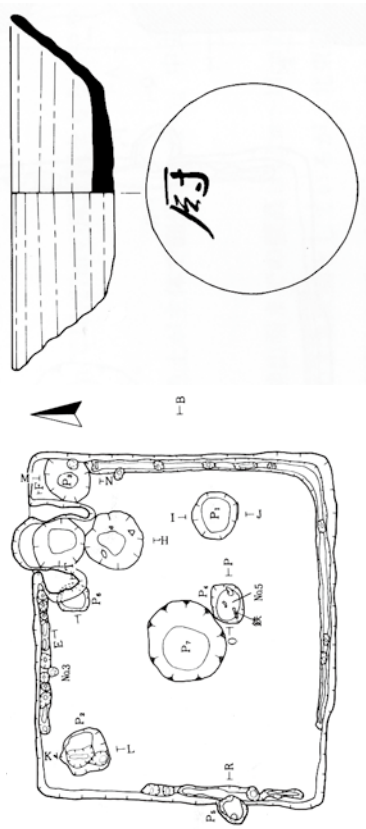
V 志波城跡出土文字資料集成

表3 志波城跡出土文字資料一覽

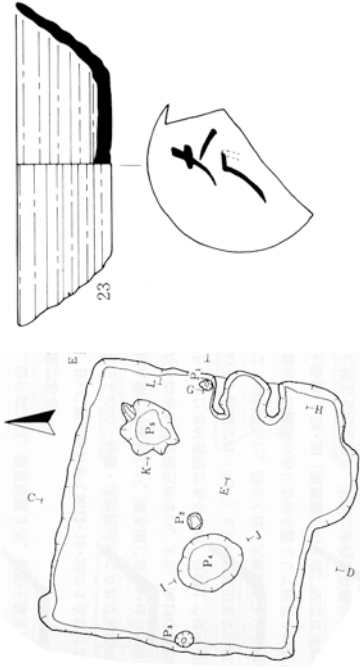
種類	判読	文字種別	調査 次数	遺構	種別	器種	部位	位置 (*)	時期	文献
1 墨書	厨	施設名	01-02	2号竪穴建物跡	土師器	坏	底部	上中	9c 1/4	岩手県教育委員会 1982 「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XIII」 岩手県文化財調査報告 68 集
2 墨書	大屋	地名	01-02	8号竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	中中	9c 1/4	岩手県教育委員会 1982 「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XIII」 岩手県文化財調査報告 68 集
3 墨書	上総口(郷カ)	地名	01-02	9号竪穴建物跡	あかやき土器	坏	底部	上中	9c 1/4	岩手県教育委員会 1982 「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XIII」 岩手県文化財調査報告 68 集
4 刻書	甲	吉祥句?	01-02	47号竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	上中	9c 1/4	岩手県教育委員会 1982 「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XIII」 岩手県文化財調査報告 68 集
5 墨書	本(奉カ)	吉祥句	01-02	47号竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	中中	9c 1/4	岩手県教育委員会 1982 「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XIII」 岩手県文化財調査報告 68 集
6 墨書	酒所	施設名	04	SI367 竪穴建物跡	土師器	坏	底部	上左	9c 1/4	盛岡市教育委員会 1978 「太田方八丁遺跡 - 昭和 52 年度発掘調査概報 -」
7 墨書	九	吉祥句	014	SB121 樽跡	須恵器	坏	底部	中中	9c 1/4	盛岡市教育委員会 1980 「太田方八丁遺跡 - 昭和 54 年度発掘調査概報 -」
8 墨書	佐所	地名	023	SI387 竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	上左	9c 1/4	盛岡市教育委員会 1982 「志波城跡 - 昭和 56 年度発掘調査概報 -」
9 墨書	廣	吉祥句	023	SI414 竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	中中	9c 1/4	盛岡市教育委員会 1982 「志波城跡 - 昭和 56 年度発掘調査概報 -」
10 墨書	奉	吉祥句	023 補	SD135 外郭東辺築地内溝跡	須恵器	坏	底部	上中	9c 1/4	盛岡市教育委員会 1983 「志波城跡 - 昭和 57 年度発掘調査概報 -」
11 墨書	厨	施設名	038	SI430 竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	中中	9c 1/4	盛岡市教育委員会 1988 「志波城跡 - 昭和 62 年度発掘調査概報 -」
12 刻書	大大六・	吉祥句	049	SD115 外郭南辺築地内溝	石製品				9c 1/4	盛岡市教育委員会 1990 「志波城跡 - 平成元年年度発掘調査概報 -」
13 刻書	十	吉祥句?	049	SI439 竪穴建物跡	須恵器	坏	底部		9c 1/4	盛岡市教育委員会 1990 「志波城跡 - 平成元年年度発掘調査概報 -」
14 墨書	府	施設名	051	SI441 竪穴建物跡	須恵器	蓋	底部		9c 1/4	盛岡市教育委員会 1991 「志波城跡 - 平成2年度発掘調査概報 -」
15 墨書	入カ	吉祥句	063	SB126 樽跡 堀方 4	須恵器	坏	底部	中左	9c 1/4	盛岡市教育委員会 1994 「志波城跡 - 平成5年度発掘調査概報 -」
16 墨書	圭カ	吉祥句	091	SD555 政庁北辺築地内溝跡	あかやき土器	坏	底部	中中	9c 1/4	盛岡市教育委員会 2003 「志波城跡 - 平成 11 ~ 14 年度発掘調査概報 -」
17 墨書	万	吉祥句	097	SI459 竪穴建物跡	須恵器	蓋	底部		9c 1/4	盛岡市教育委員会 2005 「志波城跡 - 平成 15・16 年度発掘調査概報 -」
18 墨書	答	地名	097	SI459 竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	中中	9c 1/4	盛岡市教育委員会 2005 「志波城跡 - 平成 15・16 年度発掘調査概報 -」
19 墨書	万	吉祥句	097	SI459 竪穴建物跡	須恵器	坏	底部	中中	9c 1/4	盛岡市教育委員会 2005 「志波城跡 - 平成 15・16 年度発掘調査概報 -」



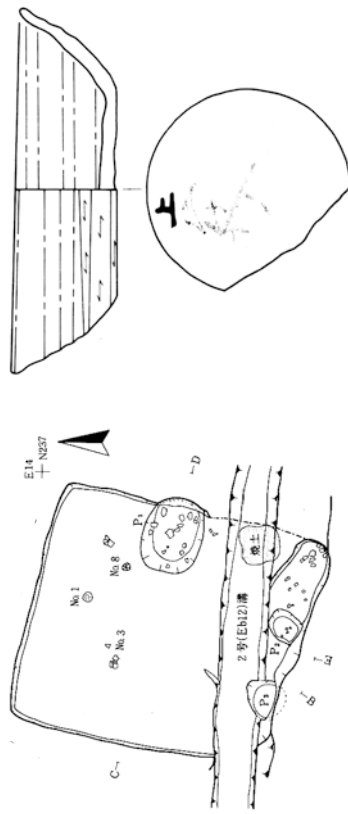
(*) 坏底面文字位置



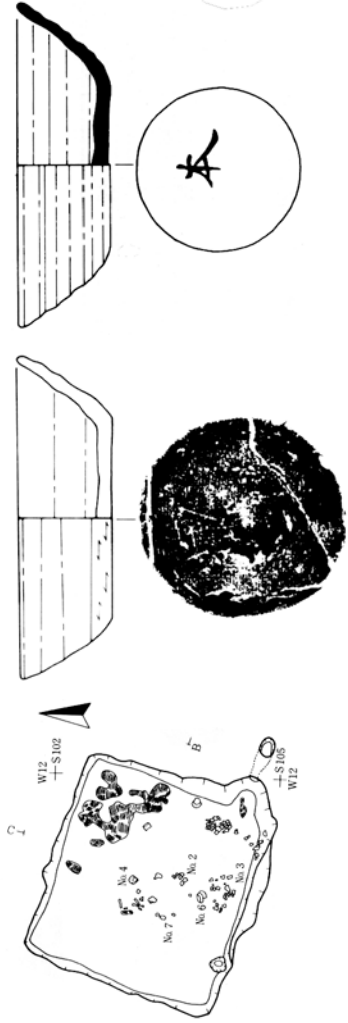
1 2号竪穴建物跡「厨」須恵器坏



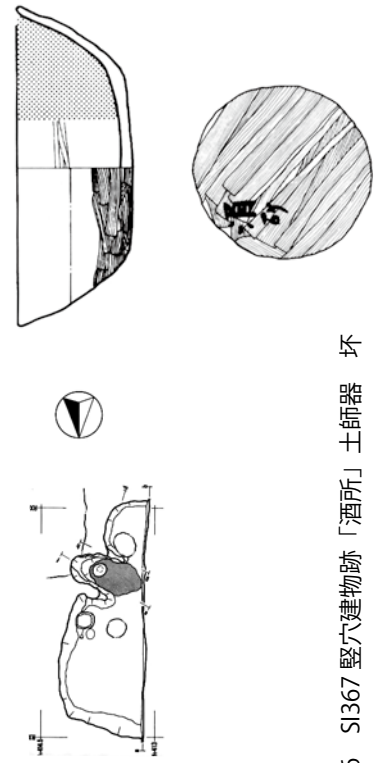
2 8号竪穴建物跡「大屋カ」須恵器坏



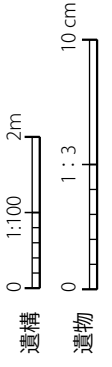
3 9号竪穴建物跡「上総口(郷カ)」あかやき土器坏

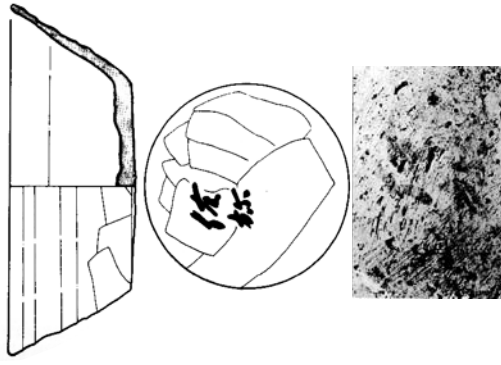


4 刻書「甲」須恵器坏 5 47号竪穴建物跡「本」須恵器坏

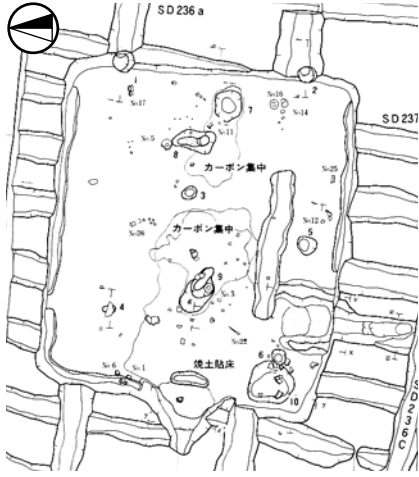


6 S1367 竪穴建物跡「酒所」土師器坏

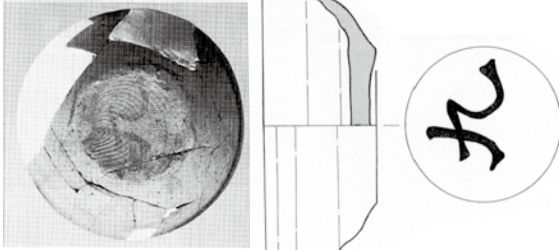




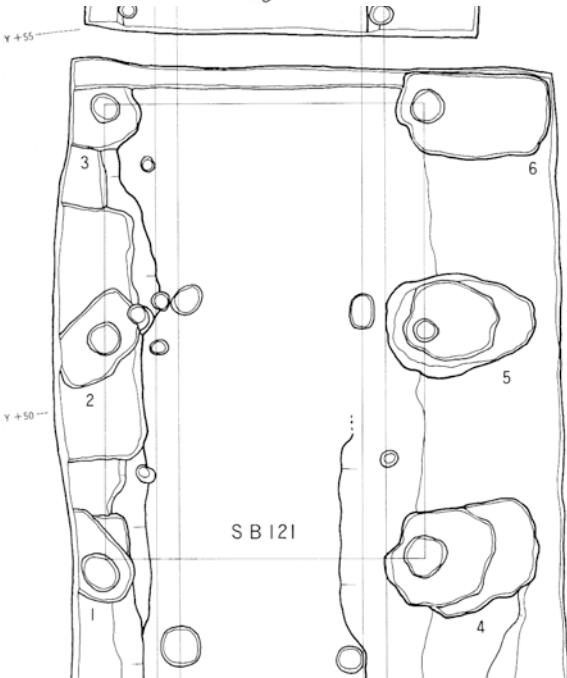
8 「佐跡」須恵器 坏



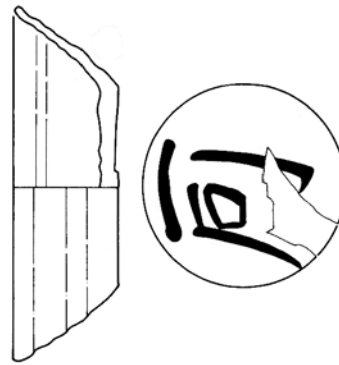
外郭南辺 S1387 竪穴建物跡



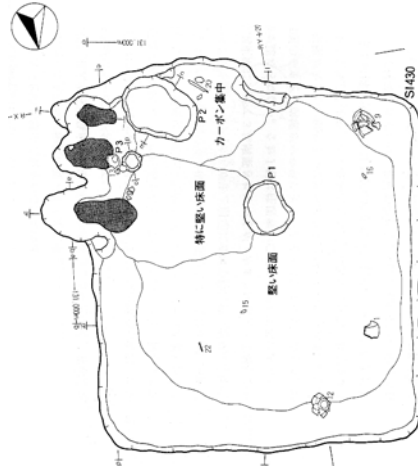
7 「丸」須恵器 坏



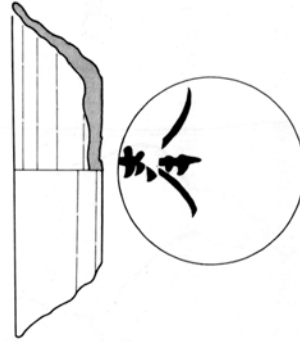
外郭南辺 SB121 櫓跡



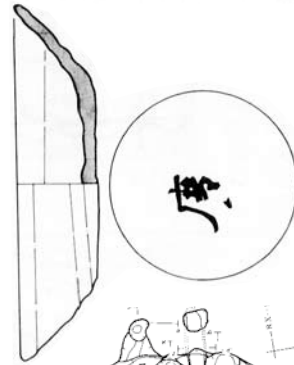
11 「厨」須恵器 坏



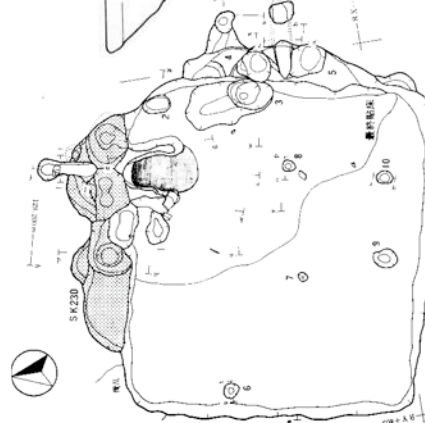
南東官衙域 S1430 竪穴建物跡



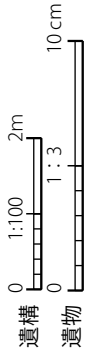
外郭東辺 SD135 築地内溝
10 「奉」須恵器 坏



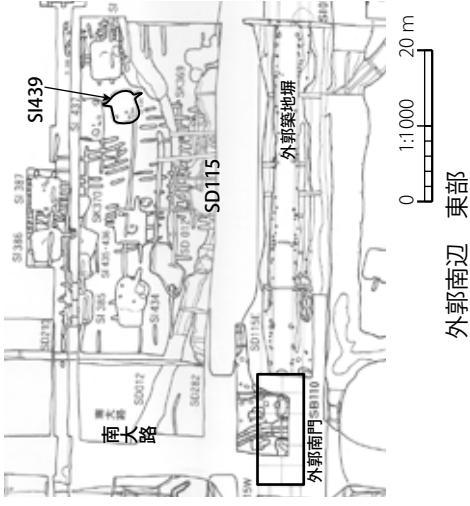
9 「唐」須恵器 坏



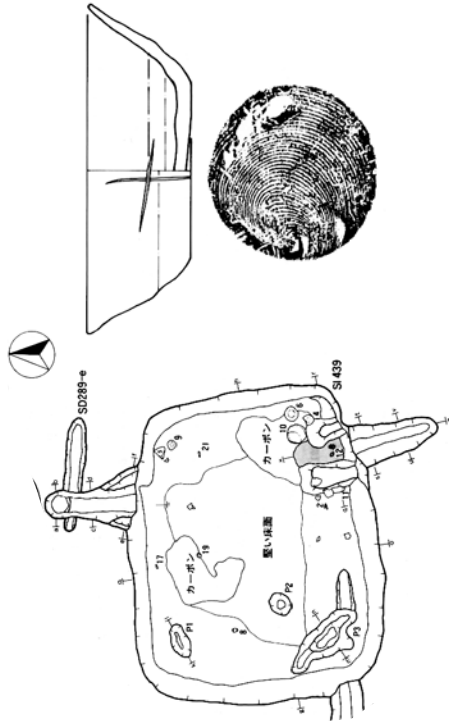
外郭南辺 S1414 竪穴建物跡



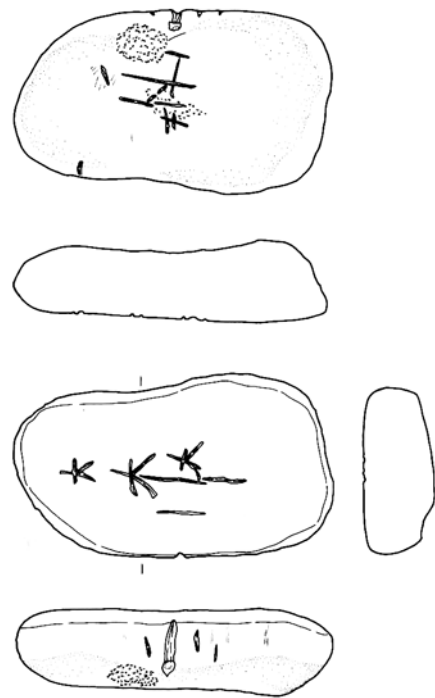
志波城跡出土文字資料 7～11



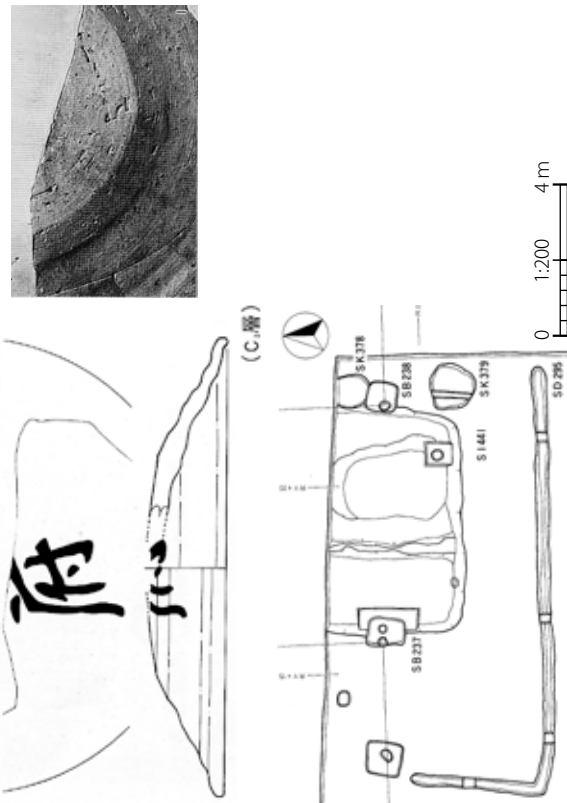
外郭南辺 東部



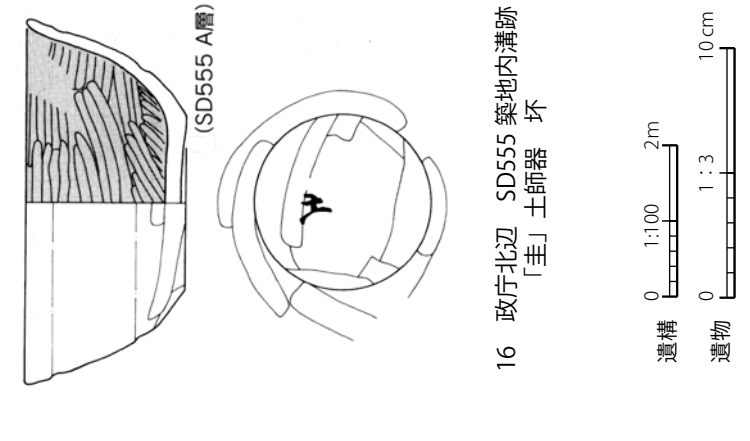
13 外郭南辺 S1439 竪穴建物跡「十」刻書 須恵器 環



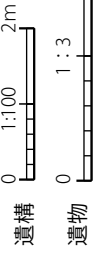
12 外郭南辺 SD115 築地内溝「大大大」刻書石製品



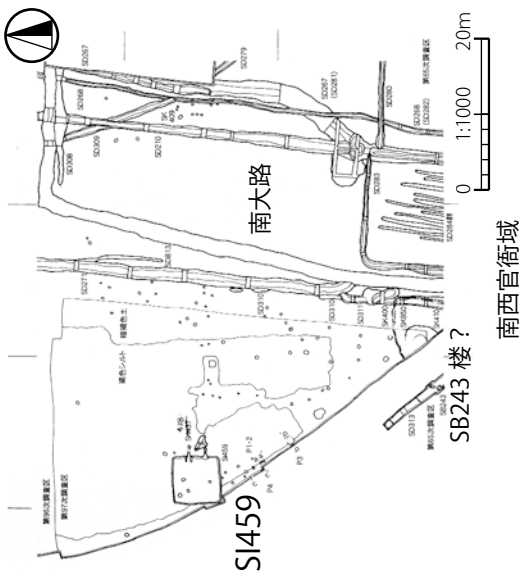
14 城内北部 S1441 竪穴「府」須恵器 蓋



16 政庁北辺 SD555 築地内溝跡「圭」土師器 環



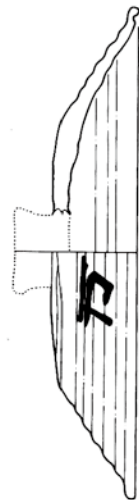
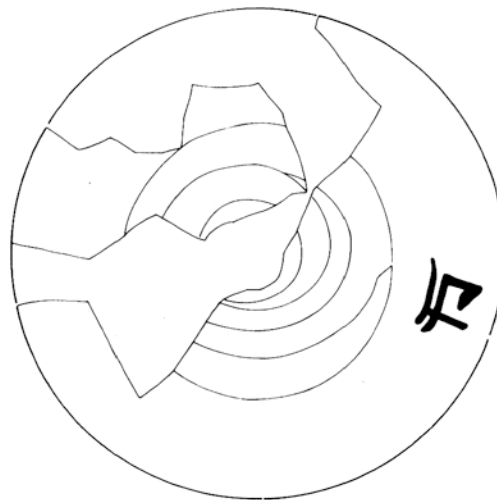
志波城跡出土文字資料 12～16



S1459

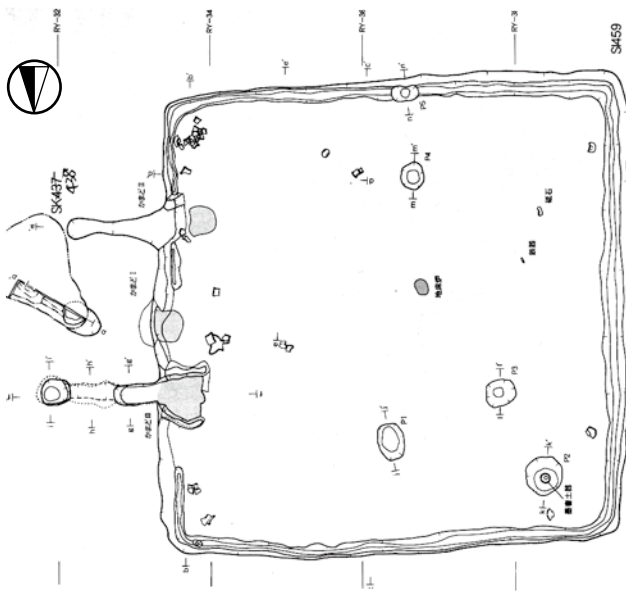
SB243 楼?

南西官衙域



(B層)

17 南西官衙域 S1459 竪穴建物跡「万」須恵器 蓋

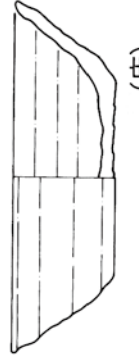
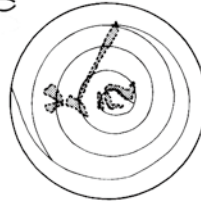


S1459

南西官衙域 S1459 竪穴建物跡



(床)



(床)

18 南西官衙域 S1459 竪穴建物跡「万」須恵器 坏

19 南西官衙域 S1459 竪穴建物跡「答」須恵器 坏

遺構 0 1:100 2m

遺物 0 1:3 10 cm

志波城跡出土文字資料 17 ~ 19